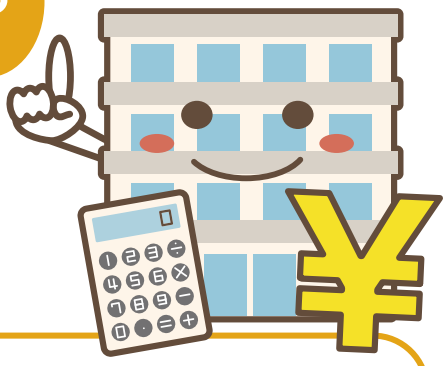
# 幸手を元気に！

## 住みたくなるまちづくりへ

Vol.11 令和5年2月発行

坂本達夫
幸手市議会議員

## 令和４年12月　幸手市議会一般質問から



### 市役所本庁舎建て替えに対する課題

**Q.**

坂本質問：

本庁舎の建て替えに対する事実を確認、整理する。①本庁舎は、昭和４２年８月に建設され、５５年が経過し、耐震性に問題がある。②新庁舎の建設費は２２億円から２６億円かかる。③建設のための基金は、５３００万円だけである。④市債残高は１３４億円もある。⑤高齢化と人口減少で財源確保が見込めない。以上のことから、耐震性に問題のある本庁舎は取り壊し、新庁舎は建設せず、その機能をウエルス幸手等、既存の建物に移転すべきと考えるが、市長の所見を求める。

**A.**

木村市長答弁：

市役所本庁舎の整備方針としては、建て替えの方向で進めており、市民や議員の皆様、これから入庁してくる職員を含めた執務を行う職員に安心して利用してもらえる庁舎、防災中枢拠点としての機能をしっかり備えた庁舎を、できる限りスピーディーに建設したいと考えている。

来年度以降の基本構想策定に向け、令和4年10月から副市長と全部長級職員で構成した庁内検討委員会を立ち上げ、基本構想策定のための準備を進めている。

### 木村市長答弁を聴いて、坂本達夫の意見

市長は、庁舎は建替えるとの方針で事業を進めています。しかし建設資金が不足しています。庁舎建設の基金が5300万円程度では、かなりの部分を市債で賄わなければいけません。市債は次の世代への借金です。多くの借金を抱えてまで、新庁舎を作るべきではないと私は考えます。新庁舎は建設せず、本庁舎の機能を既存の建物に移転させ、庁舎建設費は節約すべきと考えます。

※ 討議資料

# 幸手駅西口無料駐輪場の充実を

## Q.

坂本質問：

多くの市民が利用している無料駐輪場に屋根を付けていただきたい。また、敷地が砂利敷のため、自転車が転倒しやすい。コンクリート敷にして頂きたい。特に、雨天では雨具を脱ぐ作業が大変なので、屋根は不可欠である。決して贅沢なお願いではない、普通の駐輪場を用意いただきたい。

## A.

木村市長答弁：

幸手駅西口周辺に自転車を置く場所がないことから、民間の預かり所ができるまでの間、仮設の駐輪場を用意した。あくまで一時的なことなので、料金は徴収せず、設備も必要最小限なものとなっている。雨天時に雨具を脱ぐ場所がないという点については、考慮すべき課題だと考えている。仮設の無料施設であることを踏まえ、どのようなことが可能かを検討する。

幸手駅西口無料駐輪場の場所

## 市長答弁を聴いて、坂本達夫の意見

幸手駅西口は、２０１９年３月にオープンしました。駅舎、自由通路の事業費は、約２５億７千万円です。駅西口の完成により、西口側が便利になり、賑わいをもたらすことを期待しています。そのためには、人の流れを西口側に呼び込む施策が重要です。駐輪場に屋根を付けたり、コンクリート敷にすることは、人を西口側に呼び込む第一歩です。引き続き市長に粘り強く訴えてまいります。

さかもと たつお

坂本達夫

〒340-0163
埼玉県幸手市中川崎1−3
電話: 090-1242-0867
メール: sattegenki@gmail.com
ホームページ: sattegenki.com


### 役職等

- 幸手市体育協会長倉支部役員
- 長倉小学校応援団員
- 埼玉県地球温暖化防止活動推進員
- 中川崎保全組合会員
- 幸手市民環境ネット役員
- 中川崎共楽会役員

### プロフィール

昭和28年幸手生まれ
幸手小、幸手中、幸手商業高卒業
昭和47年埼玉県庁入庁
昭和50年埼玉大学経済短大卒業（夜間）
平成26年埼玉県庁退職
平成27年幸手市議選得票数　748票
平成31年幸手市議選得票数 1402票（初当選）